

第71次福井県学力調査（SASA2022）の結果について

1 調査について

(1) 調査目的

県内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習支援の充実、学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査対象

	参加学校数	参加児童・生徒数
小学校第5学年	185校	6,280人
中学校第2学年	76校	6,234人
合計	261校	12,514人

※小学校：盲学校、福井大学附属義務教育学校前期課程の2校を含む

※中学校：高志中学校、ろう学校、福井大学附属義務教育学校後期課程の3校を含む

※障がい等のある児童・生徒への対応について

・ルビ版の問題で調査に参加：小学校147名、中学校49名

・拡大版の問題で調査に参加：盲学校小学部1名、中学校9名

(3) 調査実施日

令和4年12月6日（火）小学校（国語、算数） 中学校（国語、英語、数学）

12月7日（水）小学校（社会、理科） 中学校（社会、理科）

(4) 調査時間

小学校 1教科45分、中学校 1教科50分

(5) 調査問題の種類

①基礎力問題

（学習した知識や技能が確実に習得されているかを問う問題）

②活用力問題

（学習した基礎的な知識や技能を活用する力を問う問題、日常生活など様々な場面で適用して解決する力を問う問題）



2 調査結果の提供について

各学校および各市町教育委員会に、教育総合研究所ホームページから以下のデータ、資料および研修を提供

(1) 1月10日 結果データ（各学校の正答率等）、個人票（各児童生徒の解答結果）

(2) 1月20日 分析速報（各教科の良好・課題）

(3) 2月上旬より オンデマンド研修、訪問型研修（分析結果と課題に対する手立て）

(4) 2月下旬 報告書（分析結果と課題に対する授業改善案）

3 児童生徒支援について

(1) 自己評価表

調査終了後、解答のポイントを確認しながら振り返りができる自己評価表を提供

(2) 解説動画

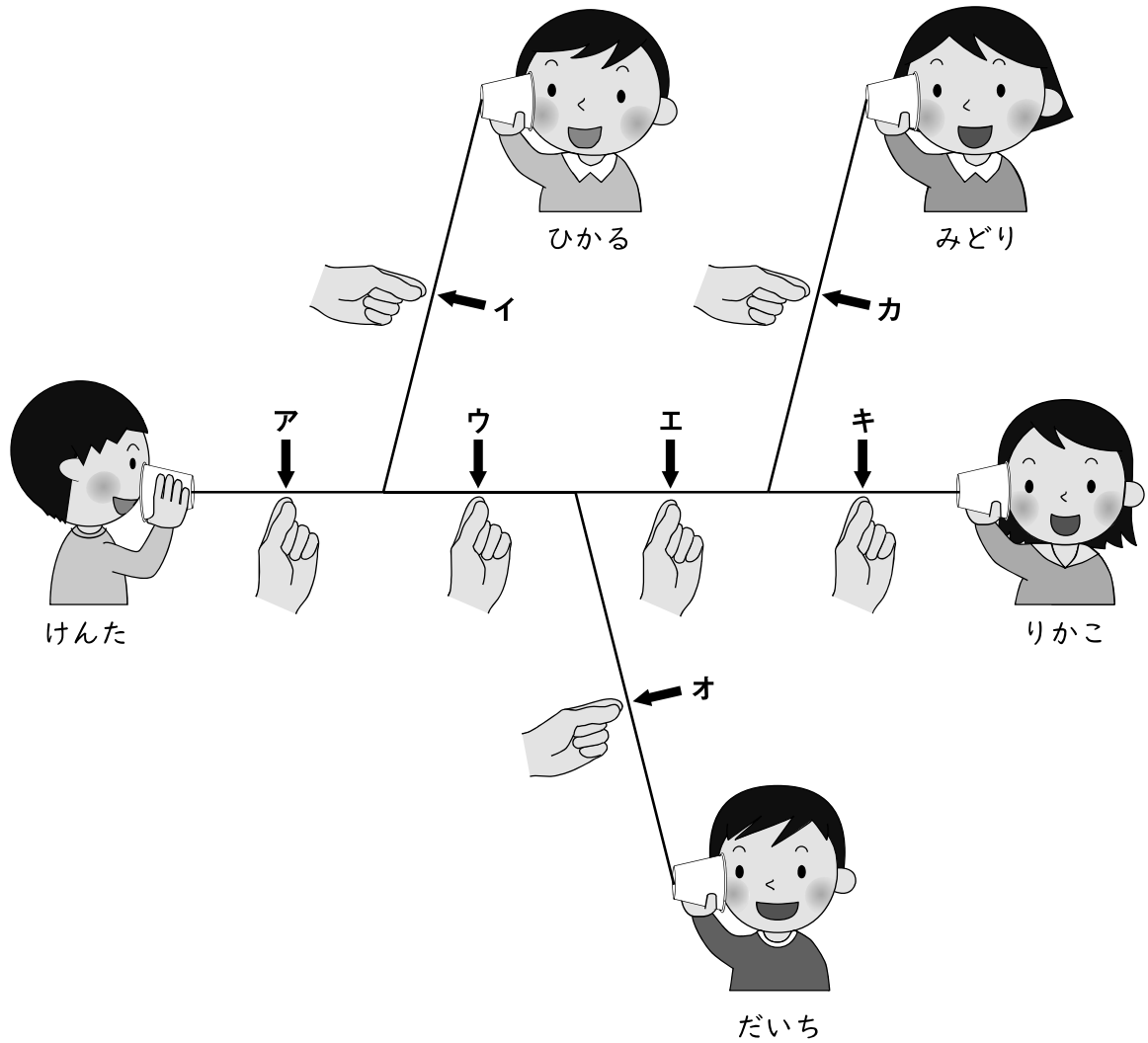
調査終了後、自己評価表に記載したQRコードを読み取り、視聴しながら振り返りができる解説動画を提供

4 各教科の良好・課題について (小)：小学校 (中)：中学校

(小) 国語	良好	書き手の意図を捉え、適切な接続語を選択する問題 過去の調査において、文章中の空欄に入る接続語を選ぶことに課題が見られたが、会話文から捉えた書き手の意図に合わせて適切なものを選ぶことができていた。
	課題	文章を読んで理解したことを基に自分の考えをまとめる問題 提示された写真から分かったことや考えたことについて、文章を読んで理解したことを踏まえて説明することに課題が見られた。
(小) 社会	良好	特定の地点から対象となる地点を見たときの正しい方位を捉える問題 過去の調査において、位置関係を方位で捉えることに課題が見られたが、特定の地点から見た対象となる地点を八方位で示すことができていた。
	課題	自然条件と産業の様子を示す資料から、沖縄県の菊づくりの特徴を説明する問題 複数の資料を関連付け、読み取った情報を根拠に、特色ある地域の人々の生活を捉えることに課題が見られた。
(小) 算数	良好	円の半径を基に円に外接する正方形の1辺の長さを求める問題 過去の調査において、図形の性質を理解し、複数の図形を関連付けて考えることに課題が見られたが、円と正方形を関連付けて、正方形の1辺の長さを求めることができていた。
	課題	三角形の面積の求め方を式や言葉を用いて表す問題 過去の全国学力・学習状況調査と同様に、図形を構成する要素に着目し、面積の求め方を式や言葉を用いて表すことに課題が見られた。
(小) 理科	良好	複数の糸をつないだ糸電話において、音が伝わる方法を捉える問題 音の伝わりについての知識を活用し、音の伝わり方を捉えることができていた。
	課題	閉じ込めた空気を圧したときの空気の体積変化を捉える問題 閉じ込めた空気に力を加えると体積は一樣に小さくなるなど、空気の性質の理解に課題が見られた。
(中) 国語	良好	司会の発言の役割を捉える問題 話し合いの話題や展開を捉え、司会の発言の役割を捉えることができていた。
	課題	登場人物の心情について、描写を基に捉える問題 今年度の全国学力・学習状況調査と同様に、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることに課題が見られた。
(中) 社会	良好	古代の政治・文化・外交についてまとめた資料から、政治の特色を捉える問題 具体的な歴史用語から、古代の日本の政治が天皇や貴族を中心に展開していた時代の特色を捉えることができていた。
	課題	武士の政治の進出について、資料を基にその背景を説明する問題 資料から読み取れる内容が、武士が権力を握る過程にどのように影響したかを考察することや、多面的に考察・説明することに課題が見られた。
(中) 数学	良好	ある平面で切断したときの切り口の形から正しい立体を指摘する問題 平面で切断したときの切り口の形を基に、空間図形を多角的に捉え、考察することができていた。
	課題	度数分布多角形の形や位置関係に着目してデータの傾向を捉え、説明する問題 過去の全国学力・学習状況調査と同様に、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。
(中) 理科	良好	簡易真空容器内の風船が膨らんだ事象を理解し、同じ事象を指摘する問題 実験結果を身の回りの自然の事物・現象と結び付けて考えることができていた。
	課題	スクリーンにできるだけ大きな像を映すために用いる箱を、根拠を持って説明する問題 物体と凸レンズの距離が、焦点距離よりも短いと実像ができないという知識の活用に課題が見られた。
(中) 英語	良好	対話の流れに合う主語と時制を判断する問題 対話の流れに応じて、ふさわしい主語と一般動詞の過去形及び未来表現を判断することができていた。
	課題	英語や資料を読んで理解したことを基に、自分の考えとその理由を書く問題 社会的な話題について、英語や資料を読んで得られた情報や表現を活用して、自分の考えとその理由を書くことに課題が見られた。

2人で話ができる糸電話に、他の糸電話を次の図1のようにつないで5人で話ができる糸電話をつくりました。すべての糸をピンとはった状態じょうたいで、けんたさんが話をしました。

図1

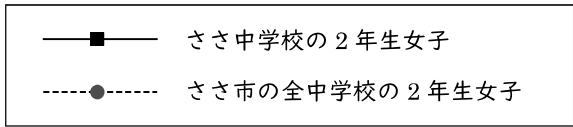
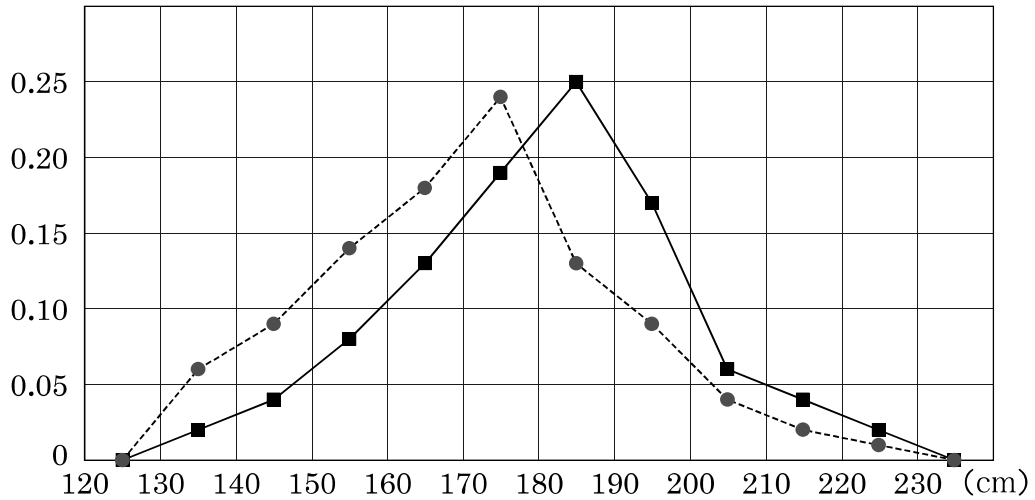


- (4) けんたさんの声が、だいちさんだけに聞こえるように2つの部分を指でつまみます。
アからキまでの中からつまむとよいと思う部分を2つ選かいどうび、記号を解答用紙に書きま
しょう。

花子さんと幸子さんは、**度数分布表**をもとに、**横軸**を記録、**縦軸**を相対度数として**度数分布多角形**に表しました。

度数分布多角形 ささ中学校の2年生女子とささ市の全中学校の2年生女子の記録

(相対度数)



(3) 花子さんは、2つの度数分布多角形から、「ささ中学校の2年生女子は、ささ市の全中学校の2年生女子よりも記録がよい傾向にある」と考えました。その理由について、次の説明を完成しなさい。解答は、解答用紙に書きなさい。

説明

2つの度数分布多角形を比較すると、

ということが分かるので、ささ中学校の2年生女子は、ささ市の全中学校の2年生女子よりも記録がよい傾向にあるといえる。

その考え方を使うと、正方形を2つの三角形に分けて、面積を求めることができるね。

図4を使って考えると、三角形ABCの面積は、

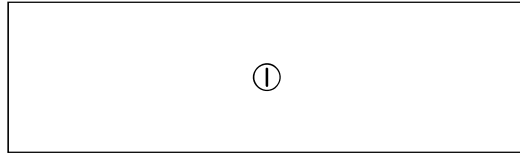
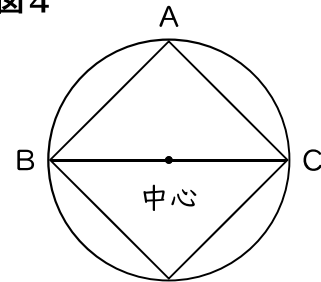


図4



たろう

正方形の面積は、この三角形ABCの面積を2倍すると分かるね。

- (3) 上の に当てはまる三角形ABCの面積の求め方を、式や言葉を使って解答用紙に書きましょう。そのとき、底辺の長さと高さが分かるように書きましょう。